

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名（三重県立松阪商業高等学校）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<input type="radio"/> 生徒・教職員が「誇り」をもち、保護者・地域から「信頼」される学校
(2)	育みたい児童生徒像	<input type="radio"/> 生徒一人ひとりの自己指導能力(そのとき、その場で、どのような行動が適切であるか、自分で判断し、決定して実行する能力)を持った生徒を育成する。
	ありたい教職員像	<input type="radio"/> 授業改善に取り組み、わかる授業を展開し、生徒の学力を伸長させる教職員。 <input type="radio"/> 共通認識をもち、それぞれの個性を生かしつつ組織力を高め、生徒に向き合い、きめ細かい指導を行う教職員集団。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<生徒>	
	<保護者>	<input type="radio"/> 充実した学校生活とクラブ活動の活性化、進路希望の実現を望んでいる。
	<地域>	<input type="radio"/> 生徒が安全安心な高校生活を送るとともに、進路希望の実現を期待している。
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭></p> <p><input type="radio"/> 安全・安心な教育環境の中で、心身ともに健康な生徒を育成してほしい。</p> <p><input type="radio"/> 進路希望を実現できるよう支援してほしい。</p> <p><中学校></p> <p><input type="radio"/> 学力面、生徒指導面での中高の連携をすべての教職員レベルで図ってほしい。</p> <p><input type="radio"/> 外国人生徒の指導について、一層の連携を図りたい。</p> <p><地域社会></p> <p><input type="radio"/> 関係機関、事業所との連携・協力を進めてほしい。</p> <p><input type="radio"/> 挨拶・身だしなみ等は地域の学校評価の大きなポイントなので、一層指導を推進してほしい。</p>	<p><家庭></p> <p><input type="radio"/> 本校教育方針への理解と協力、家庭での基本的生活習慣の教育を期待したい。</p> <p><中学校></p> <p><input type="radio"/> 基礎学力の向上、継続的な指導のための個々の生徒の情報共有を期待したい。</p> <p><地域社会></p> <p><input type="radio"/> 本校の専門性や特色を理解し、生徒の活躍の場を与えてほしい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	総勤務時間の縮減について、学校として組織的に対応することが必要ではないか。単に勤務時間を減らすだけでなく、全体的な仕事量を減らす努力が必要ではないか。 授業改善シートの提出率が低いように思われる。せっかくのいい取組が活かされていないようと思われる。特に年度末の提出率が減少しているのは残念である。授業改善に向けた授業改善評価シートの取組は、すばらしい取組だと思うので次年度も取り組むべきだと思う。 授業に対して生徒目線でアンケートを実施してはどうか。	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単位制高校としての利点を生かし、少人数や習熟度講座を編成し、学習者へのきめ細かな指導を行い、希望進路の実現を図っている。 ○ 普通科志向の風潮の中、専門学科が敬遠され、募集定数の確保が難しい学科もある。学科の特色や強みを生かした教育活動を展開し、地域に魅力を発信することが大切である。 ○ 専門教科に比べ、一般教科の学力定着・向上に課題がある。生徒が基礎基本の学力の定着を図ることができるよう、家庭学習など自律的に学習する習慣を身につけることが重要である。 ○ 商業や英語関係の高度な資格取得に積極的に取り組み、大きな実績を上げている。 ○ いじめの早期発見に努め、生徒が望ましい人権意識をもち、安全・安心な学校生活を送ることができるよう学校全体で取り組む必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業教育の拠点校として、高い専門性を有した教職員が配置され、スペシャリストを育成するノウハウを備えている。 ○ 伝統ある地域の商業高校として、地元産業界等と強いネットワークで結ばれている。 ○ 生徒が落ち着きを取り戻し、学習活動や部活動、挨拶を始めとする礼儀や身なりなど地域からも一定の評価を受けるようになっている。今後も一層、生徒の社会的自立に向け基本的生活習慣や社会性を身につけさせる取組を向上させる必要がある。 ○ 生徒の持てる力を一層伸ばすため、教職員相互の授業研究を行うなど授業改善の取り組みを推進することが求められる。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善に取り組み、わかる授業を開催し、生徒の学力を伸長させる。 ○ 生徒の自己指導能力を高める。 ○ 生徒が自己実現に向けた進路決定ができるようにする。 ○ 商業や英語関係の高度な資格取得に一層取り組み、進路決定につなげていく。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にわかる授業を開催し、学力向上につなげるため、全教職員が連携して授業改善を推進する。 ○ 基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀を身につけ、心身ともに健康な生徒を育成する。 ○ 外部の関係機関と連携して教育活動を行うことで、生徒が現実の社会のなかでビジネスを学ぶ場を創出するなど多様に学ぶ機会を保障するとともに、地域から信頼される学校づくりを推進する。 ○ 教職員の総勤務時間の縮減と健康増進を図ることにより、より質の高い教育を目指すとともに、教職員の一層の資質向上に取り組むため、次の取組を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日の設定(月1日) ・部活動休養日の設定(週1日または月4日) ・会議時間の短縮(会議スマートルールの適用。) 開催時間は1時間以内を目指す。 ・休暇取得日数の増加(休暇を年に1日多く取得) ・1月あたり80時間を超える時間外労働の減少。平成28年度比20%減少を目指す。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」などまた、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教育活動の充実	<p>(1) 規律ある行動の徹底 儀式・集会を通して集団の一員としての自覚を深めさせ、迅速な整列・行動を周知徹底させる。</p> <p>(2) 防災訓練の実施 緊張感のある防災訓練などを通じて、集団行動の重要性を認識させ、危機管理や防災についての意識の高揚を図る。</p> <p>(3) 保護者アンケートを実施学期末に保護者対象アンケートを実施し、分析・考察を行い、保護者に返すとともに本校教育活動に活かす。</p>	<p>(1) 迅速な整列・行動の周知徹底が図れた。</p> <p>(2) 地震が来た時の正しい行動を身につけるという目的で防災訓練を行った。</p> <p>(3) 2学期末に実施し、273名(47%)の保護者から回答を頂いた。3学期末に結果、学校からの回答を保護者に返す予定である。◎</p>	
学習指導の充実	<p>(1) 家庭学習習慣の定着 学習時間調査の実施 【目標】家庭学習の大切さを意識づけ学習習慣の定着を図る。 【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習時間調査シートを使い、生徒に一日の生活時間を1週間記録させる。 ② 1週間後、1日当たりの家庭学習時間の平均を記入させ、シートを回収する。 ③ 生徒の生活時間を診断し、学習時間を確保するためのアドバイスをするなど、個別面談での材料として活用する。 ④ クラス全員の家庭学習時間を集約し、生徒個別目標やクラス目標を設定してもよい。 <p>【活動指標】年度末に教員の自己評価で、実施したクラス数を50%以上にする。</p> <p>【成果指標】生徒の学習時間を集約で、1日の家庭学習時間が1時間以上の生徒の割合を100%にする。</p> <p>(2) 授業改善の取り組み 「いつもの授業にひと工夫」 【目標】すべての教員が自主的に授業改善を行い、そのノウハウを共有する。 【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 年度初めにすべての教員が、授業改善のための工夫、アイデアを一つ以上設定し、授業改善設定シートに記入する。改善の工夫は新規に行うものだけでなく、すでに行っていることの継続でも可。複数で担当する場合は共同での設定も可。年度途中の設定も可。 	<p>(1) 家庭学習習慣の定着 学習時間調査シートを利用して学習時間調査実施、16クラス中13クラスで実施した。</p> <p>実施をしなかった方の理由：実施した調査を有効活用できないと判断したため。(1名) また、他2名は回答なし。</p> <p>(2) 授業改善の取り組み 授業改善シートを配布した結果、50名が授業改善シート計画案を提出。現在、授業改善シートの実施結果の提出待ちである。</p>	

	<p>② 授業改善設定シートはデータベースに登録し、全教員で共有する。</p> <p>③ 授業で実施する。</p> <p>④ 年度末に自己評価し授業改善評価シートに記入する。結果をデータベースに登録し、ノウハウを共有する。</p> <p>⑤ 次年度は新たな改善策を設定するか、自身の改善策を改良するか、あるいは共有された改善策を利用する。</p> <p>【活動指標】設定された改善の工夫に対して、年度末の自己評価で、次の 3 点がすべて評価される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実施の状況(できた、できなかつた、途中で中止した) ② 成果の有無(効果があつた、効果がなかつた) ③ 改善策の分類(継続・棄却・修正継続) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による上記の自己評価のうち②については、生徒による授業評価など担当者が実施してもよい。 ・生徒による「学校生活のアンケート」で、「授業の理解度」の肯定意見を 80% 以上、「質問ができる雰囲気」の肯定意見を 70% 以上にする。 <p>(3) 生徒の授業アンケートの実施</p> <p>【目標】生徒の授業アンケートを実施し、授業改善に資するようする。</p> <p>【取組内容】各教員が年1回以上、1つ以上の授業で生徒の授業アンケートを実施し、授業改善に活用する。</p> <p>【成果指標】授業アンケートの結果を、指導方法に活用した教員 80% 以上</p>	
進路希望の実現(3年生)	<p>(1) 積極的に企業訪問を行い、企業情報を生徒に的確に伝える。</p> <p>(2) 職員全体での面接指導を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>(3) 進路内定後、校長面談、進路講話を実施し、社会人になることへの自覚・意識の向上につなげる。</p>	<p>ほぼ生徒の希望に沿った企業に内定、学校に合格している。</p> <p>(1) 4月～6月を中心に企業訪問、電話連絡を行い、情報を収集し、学年団と情報共有した。</p> <p>(2) 全職員で6、9、10月に面接指導を行い、企業・学校の面接試験の準備をした。</p> <p>(3) 学年団を中心に卒業後の心構えについて指導した。1月に外部講師、進路指導部で講話を行い、意識向上に努めた。</p>
将来の進路	(1) 外部講師等を活用した進路講話・ガイダンスを実施する。	基礎学力向上の取り組みとして

への意識の向上 (1、2年生)	<p>(2) 進路に関わる情報を的確に発信する。</p>	<p>て、実力テストの成績不振者に対して課題を与えるなどの指導を行った。</p> <p>(1) 外部講師や企業、学校を招き、進路講話・ガイダンスを行い、進路意識の向上を図った。</p> <p>(2) 就職・進学先の情報等、進路選択に有用な情報を提供した。</p>
生徒指導の充実	<p>(1) 丁寧な頭髪服装指導や着こなし講座の実施により自発的な「見た目」向上の意識付けをはかる。</p> <p>【活動指標】 頭髪服装指導日までに十分な準備のできる生徒、日ごろから端正な頭髪服装を心がける生徒を増やすため、啓発に力を入れる(講話・通信等)。</p> <p>【成果指標】 頭髪服装指導での合格生徒の昨年比増。</p>	<p>(1) 男子の頭髪規定も定着し、頭髪服装指導までに、しっかりと準備ができるようになつた。また、女子の制服の着こなしも学校生活だけでなく、校外でも正しく着こなせており、「見た目」は、向上した。</p>
生徒会活動の充実	<p>(1) 生徒主体で生徒会行事・企画を運営していく。</p> <p>(2) クラブ活動の活性化に取り組む。</p> <p>(3) エコキヤップ回収・自転車ツーロック運動・地域清掃等、環境に関する活動の活性化に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(1) 生徒が主体で各行事(体育祭・文化祭・クラスマッチ・壮行会等)を運営し、すべての生徒が楽しんで思い出に残るような行事を計画・実行し、行事ごとでアンケートを実施する。</p> <p>(2) 生徒会誌「松籟」や学習成果発表会等で部活動成績等の紹介を行う。</p> <p>(3) クラス対抗エコキヤップコンクールの実施(1学期)</p> <p>(4) 自転車啓蒙活動(ツーロック・交通安全を含めた活動)</p> <p>(5) 地域に貢献する活動を行う(ボランティア活動)</p> <p>【成果指標】</p> <p>(1) エコキヤップ回収:12,000個を目標。</p> <p>(2) 自転車交通ルールの徹底・管理及び乗車マナーの意識調査の実施。安全教育の推進を図る。</p>	<p>(1) 各行事・企画ともに概ね生徒主体で運営することが出来た。各アンケートも「良かった」という意見を多数いただいた。</p> <p>(2) 各クラブともに活発な活動を行っていた。壮行会の回数も増え、東海大会・全国大会に出場している生徒数も増えている。</p> <p>(3) エコキヤップの回収については定着化してきている。今後は地域に貢献する活動ができたと思う。</p>
保健指導の充実	<p>(1) 心の自己管理能力を高めさせ、望ましい人間関係を作らせる。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣の確立と健康への理解を深め、疾病の予防に努めさせる。</p>	<p>(1) 悩みを抱える生徒の対応もカウンセリングを受けるなど手厚くできた。</p> <p>(2) けがでの通院治療が多くスポーツ健康センターへの提</p>

	<p>(3) 男女の特性を理解させ、健全な交際のあり方について理解を深めさせる。</p> <p>(4) 健康で安全な環境づくりと環境美化に努めさせる。</p>	<p>出書類の量が大変多かった。</p> <p>(3) 性教育講演会の生徒の感想文から、男女の特性を理解させ、健全な交際のあり方について理解を深めさせることができた。</p>	
人権教育の推進	<p>(1) 学校生活の様々な場面・側面を通じて人権意識を育み、周囲にある課題に主体的に気づいて取り組み、自立した行動を選択できる社会的技能を持った生徒を育成する。</p> <p>(2) 人権教育推進計画に基づき、HRや教科学習、講演などにおいて人権尊重の精神を培う。</p> <p>(3) 近隣の小・中学校と積極的に連携をはかり、出前授業等の実践的な機会を通じて他者を理解・尊重する姿勢を育む。</p>	<p>おおむね指標にもとづく活動をおこなうことができた。特に、これまで取り組みが遅れていた「LGBT」に関する講演を2学期末に全学年対象で実施できたことは、今後の本校の人権教育を推進していくための試金石となった。</p>	
図書館利用教育	<p>(1) 学校図書館の利用の意義を理解し、またマナーの習得等、生涯教育の場となる公共図書館等の利用につながるような基礎的知識の習得を目指します。</p> <p>(2) クラス生徒への働きかけのきっかけとなるように、図書委員会活動を活性化させ、親しみやすい学校図書館を目指します。</p> <p>【活動指標】マナー指導や図書委員会による「図書館通信」の発行及び展示等。</p> <p>【成果指標】図書館利用にあたってのマナー指導(随時)。図書委員会による「図書館通信」の発行(年5回程度)。</p>	<p>(1) 今年度も新入生対象のオリエンテーションを実施した。延長手続きをうまく利用する生徒が増えた。また、年度が進むにつれて定期テストや資格試験の前などの放課後、学習の場として利用する生徒がみられるようになった。</p> <p>(2) 図書委員活動の一環として、月1回程度のショーウィンドー展示、2か月に1回程度の「図書館通信」の発行を生徒主体となり自主的に取り組むことができた。また、今年度からは3年生も加え、図書委員会各学年別ビブリオバトルを1学期に実施した。</p>	
資質向上の取り組み (情報ビジネス科)	<p>(1) 見直した教育課程初年度として、1年生に無理なく「簿記」の基礎知識を習得させ、「簿記」嫌いを作らない。</p> <p>(2) 専門学校との高専連携を活用し、新範囲が増えた日商簿記検定合格者の増加を目指す。</p> <p>(3) ビジネス文書検定や珠算・電卓検定等幅広い科目で上位級の合格者を増やし、より商業科目の習得に自信を持たせる。</p>	<p>(1) 「簿記」の基礎習得に力を入れ、99.3%の検定合格率を挙げることができた。</p> <p>(2) 高専連携で日商検定対応講座を開講し、新範囲の解説等学習の充実を図れた。</p> <p>(3) 情報処理検定等ほとんどの検定で合格者が増加し、商業科目に対する学習意欲の向上がみられる。</p>	

「教育課程・学習指導」 「キャリア教育」 (情報システム科)	<p>(1) サマースクール、ウインターランド、情報システム科合宿により情報技術に関する基礎的、基本的な知識と技術の定着をはかり、高度な資格試験合格を目指す。</p> <p>(2) 学習した知識を生かすため、外部教育力を導入するなど生徒のスキルアップに努める。</p>	<p>(1) 理解度別にきめ細やかな指導をとおして、おおむね実現できた。</p> <p>(2) 専門学校の講師を招聘するとともに、Web教材を活用することで、生徒のスキルアップにもなった。</p>	◎ ※
キャリア教育 (国際教養科)	<p>(1) 実用英語検定及び全商英語検定の資格取得、TOEICのスコアを有効活用し、進路選択の一助にしながら、課外授業や個別指導においても積極的に生徒の支援を行う。</p> <p>(2) 本校生徒が地域の小学校に出向き、英語指導行うことにより、児童たちに「英語学習の楽しさ」を教えるとともに、英語を学ぶ楽しさを共有する。</p>	<p>(1)-1 3年次生徒68、5%が実用技能検定2級に合格(過去最高66、6%)、また例年のように指定校制度を使う生徒は少数で一般公募推薦に積極的に挑戦し、合格を勝ち取った生徒が多かった。</p> <p>(1)-2 「外部機関と連携した授業研究の取り組み」において授業改善に取り組み、公開授業も行い生徒に還元ができた。</p> <p>(2) 今年度で2年目となった排水小での英語活動では今年度も、本来の目標を果たすことができた。</p>	

改善課題

(年度末に記載)

【総務部】

- ・防災訓練を一層の防災意識が高まるものに改善していく。

【教務部】

- ・生徒の家庭での学習習慣が定着を推進する。
- ・授業改善シート、授業アンケートなどを活用し、学校全体で一層の授業改善行う。

【進路指導部】

- ・生徒の進路選択のため、企業との接触や進学説明会への参加等により情報を取り組む。

【生徒指導部】

- ・生徒指導の更なる充実を目指し、頭髪指導日などに対する意識付けの強化に努める。

【生徒会】

- ・地域社会に対する貢献する活動が出来ていないので、ボランティア活動を含め、校外活動の一層の充実に取り組む。

【保健部】

- ・夏休み前に性教育講演会を実施する。
- ・ゴミ袋やトイレットペーパーの使用を最小限に抑えるための啓発活動を行う。
- ・本年度は自転車での怪我やクラブ活動での怪我が多く発生した。来年度は怪我防止の啓発などを行う。

【人権教育推進部】

・人権LHRの実施を中心に、講演や討議を通じて昨年度までの取り組みをさらにすすめ、定着させていく。

・各学年団と連絡を密にし、生徒たちの実情を考慮しながら人権教育を進めていく。

【図書部】

・図書館の利用率を高めるための工夫を行う。

【情報ビジネス科・情報システム科】

・平成30年度はカリキュラム改編2年目にあたり、新2年生の簿記の到達目標を達成するため、商業科で協力して取り組む。

・1年生の商業の基礎基本の習得に力を入れる。

・高度な資格検定の取得や全商三種以上合格に向けサポートを充実させる。

【国際教養科】

・学期ごとに複数の公開授業と授業改善のための検討会を行う。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修（資質向上の取組）」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
総務業務の円滑化	<p>(1) 業務分担の明確化および業務のスケジュール化を図り、進捗管理を行う。</p> <p>(2) 分掌、学年、教科、事務と密接な連携を図り、共通理解のもと、円滑な教育活動の推進に努める。</p> <p>(3) PTA 総会、PTA 役員会、研修旅行等を通じて、PTA の密接な連携をはかる。</p>	<p>(1) 業務分担、各分掌、学年等との連携は概ねできた。</p> <p>(2) 概ね分掌、学年、教科、事務と密接な連携を図り、共通理解のもと、円滑な教育活動の推進に努めることができた。</p> <p>(3) VIVA 松商、文化祭での喫茶、研修旅行等を通じて PTA との連携を図ることができた。</p>	
学校教育活動の広報	<p>(1) オープンスクール、学校説明会、授業公開を実施する。</p> <p>(2) 学校紹介パンフレット、ポスターを作成し、中学生に本校での学習や部活動について知ってもらう。</p> <p>(3) 学校 HP の更新を随時進め、最新の情報提供を行う。さらに、学校 HP をリニューアルして、広報活動の充実を図る。</p> <p>(4) 携帯メール配信システムを有効活用し、緊急連絡体制の整備を図るとともに、本校教育活動の広報に活用する。</p>	<p>(1) オープンスクール、学校説明会、授業公開を実施できた。</p> <p>(2) 学校紹介パンフレットを大幅にリニューアルした。</p> <p>(3) HP の更新については十分ではなかったが、来年度からの新しい HP の導入に向けて作業をすすめた。</p> <p>(4) 適切な時期に緊急メールを配信することができた。</p>	◎

教務の基本原則の確認	<p>(1) 授業の定刻開始 【目標】 開始のチャイムと同時に授業を始めることで、生徒に授業の大切さを意識させるとともに、授業にメリハリをつける。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 授業開始のチャイムと同時に授業を開始する。 ② 授業終了のチャイムと同時に授業を終了する。 <p>【活動指標】 年度末に行う教員の自己評価により、突発的な事態を除いて達成度を 100% にする。</p>	<p>(1) 授業の定刻開始 教員は授業開始前に教室へ移動することにより定刻開始を実現。生徒の授業準備も休み時間中に完了。</p>	
<p>教職員全体で進路指導に取り組む体制をつくる。</p> <p>保護者への情報発信を充実させる。</p>	<p>(1) 職員全体での面接指導を計画的に行う。</p> <p>(2) 課外授業を計画し、受験生徒の支援を行う。</p> <p>(1) 入学式後に保護者への進路説明を行う。</p> <p>(2) 総務部と連携し、PTA総会後に保護者対象進路ガイダンスを実施する。</p> <p>(3) 進路だよりを定期的に発行する。</p>	<p>(1) 6,8,9,10 月に教職員全体で、面接指導を行った。</p> <p>(2) 夏休みに課外授業期間を設定し、学力の向上に取り組んだ。</p> <p>(1) 予定通り実施した。</p> <p>(2) 就職、進学希望別に実施した。</p> <p>(3) あまり実施できていない。改善を要すると考えます。</p>	
<p>生徒指導における組織力向上</p>	<p>(1) 生徒指導におけるチームワーク力の向上。</p> <p>(2) 頭髪服装、交通マナー、アルバイトなどの指導において情報共有し、共通認識を持って当たる。</p> <p>【活動指標】 生徒指導、学年団との情報共有会議。</p> <p>【成果指標】 頭髪の基準等の生徒への浸透状況および教員の達成感の向上。</p>	<p>頭髪指導の状況や生徒の指導案件を報告し、生徒の様子を情報共有して、全職員に共通理解のもとで指導にあたることができた。</p>	
<p>生徒会と保護者・地域との取組</p>	<p>(1) VIVA松商を実施し、PTA役員・総務部・生徒会顧問・生徒会執行部役員が集結し、松商の学校生活等について協議する。</p> <p>(2) 地域から要請のある活動に、生徒を積極的に参加させる。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(1) VIVA松商を1学期の期末テスト中に実施し、情報を共有し、学校活性化につなげていく。</p>	<p>(1) 今年も VIVA 松商を実施し、学校活性化につなげていくことが出来た。1つ1つの課題について、執行していきたい。</p> <p>(2) 地域から要請のある活動に若干の生徒が参加したが、なかなか思うように活動が出来ていない。</p>	※ ※
<p>保健部の活動</p>	<p>(1) 生徒の気持ちに寄り添い、望ましい学校生活が送れるように支援する。</p> <p>(2) 特別支援の必要な生徒の情報共有と支援活動を行う。</p> <p>(3) 保健に関する情報提供と健康増進のための情報を発信する。</p>	<p>(1) 和やかな雰囲気で生徒が心を開き相談しやすい状況をつくれた。</p> <p>(2) 情報の共有と守秘義務とのバランスを考え活動できた。</p> <p>(3) 保健委員会の保険便りや文化祭での活動により発</p>	

	<p>(4) 健康診断と救急処置及び日常的な保健指導を行う。</p> <p>(5) 心身の健康教育と、教育相談による心のケアを充実させる。</p> <p>(6) 校内の環境美化活動とごみの分別を徹底する。</p>	<p>信することができた。</p> <p>(4) 学校医との連絡を密にした保健指導できた。</p> <p>(5) 担任、保護者からの多くの相談があり、カウンセリングもきめ細かく行われた。</p> <p>(6) 校務員さんの協力もあり校内の美化は保たれた。反面ゴミ袋やトイレットペーパーの消費量は増えた保健室からの結果報告です。上記6点お願いします。</p>	
人権教育研修	<p>(1) 教職員の人権意識を高めるため、現職教育の開催や校外研修への積極的な参加を促進する。</p> <p>(2) 人権教育の視点から公開授業をおこない、取り組みを通じて教職員の指導力の向上を目指す。</p>	<p>(1) 各先生方には研修等に積極的にご参加いただいた。</p> <p>(2) 人権教育の視点からの公開授業は特に実施していない。日々の授業から人権教育の視点を意識づけられるように取り組みたい。</p>	
学校図書館の情報提供	<p>(1) 各教科との連携を密にし、総合学習等でのアクティブラーニング活動につながる教育支援の充実に努めます。</p> <p>【活動指標】図書館利用につながる案内とサービス(資料提供、レファレンスサービス)。</p> <p>【成果指標】必要に応じた案内とサービス(随時)。</p>	<p>(1) 年度初めに職員向けの「図書館利用案内」(授業利用支援のご案内等)を配布し、図書館資料を活用した教育支援を随時、教科担当者との連携のもと行った。(教材研究のための資料提供、調べ学習、授業でのビブリオバトル等)</p>	
「保護者・地域住民等との連携」 (情報ビジネス科・情報システム科)	<p>(1) 各種検定・国家試験等の日程や計画を明確にすることで、保護者と連携した教育活動をおこなう環境づくりに努める。</p> <p>(2) 小中学校や大学・専門学校との連携により、生徒に幅広い教育機会を与える。</p>	<p>(1) 入学時に実施する保護者説明会で情報システム科の共通目標として、資格取得であることを伝えるとともに最終到達目標を情報処理技術者試験であることを説明し理解を求めた。</p> <p>(2) 地元小学校の児童を本校に招き、生徒によるプログラミング教室を実施した。さらに、専門学校の教員による国家試験の受験対策講座や専門学校の</p>	

		Web教材を活用した授業を実施した。	
組織力の向上 (国際教養科)	<p>(1) 国際教養科在籍生徒の学力向上の組織構築のため、国際教養科委員会を定例化する。</p> <p>(2) 英語科及び他教科との連携を図りながら、公開授業や先進校視察など授業改善に取り組み、教員の資質向上に取り組む。</p>	<p>(1) 生徒の学力補充のため、夏休み前、外部の教育機関の学習アプリの活用を紹介し、希望者のみ利用するにとどまり、定例会はできなかった。</p> <p>(2) 英語科においては「外部機関と連携した授業研究の取り組み」において授業改善や公開授業のみならず、松阪市内小中との連携も始ましたが、他教科との連携した取り組みはなかつた。</p>	

改善課題

(年度末に記載)

【総務部】

- ・本校のよさをアピールするために、授業公開の参加者を増やす工夫を行う。
- ・来年度より学校HPをリニューアルする。これに伴い継続的に各分掌、各学科、各クラブの内容を随時更新する。
- ・学校紹介ポスターを作成して、中学生に松商をアピールする。

【教務部】

- ・統一校務支援システムが本格導入され、システムの運用にあたり適正な仕事の分担を行う。

【進路指導部】

- ・教職員の協力が得やすいような環境作りを行う。
- ・「進路便り」の発行回数を増やし、生徒・保護者への情報提供に努める。

【生徒指導部】

生徒指導部における更なるチームワークの向上を目指す。特に生徒の様子を情報共有して、全職員で指導にあたる環境作りが必要である。

【生徒会】

- ・VIVA松商などを通して学校改善に努める。
- ・生徒が生徒会行事などを通してさまざまな場面で活動できるよう環境整備を行う。

【保健部】

- ・ゴミ袋やトイレットペーパーの消費量をおさえる。
- ・生徒の心の問題について、保健室ができるることをアピールし、生徒の心のケアに努める。
- ・生徒の運動による怪我が多いので、生徒の安全意識を更に高める。

【人権教育推進部】

教員の人権に対する意識を高めるため、人権教育に関わる研修等への積極的な参加を呼びかけ、校内研修の充実にも取り組む。

【図書部】

- ・蔵書の更新が進んで行きにくい状況ではあるが、時代のニーズに合った基本的な蔵書は現行通り適宜購

入して揃えていく。

- ・他館からの借り受けを最大限に利用し、種々の教育活動に向け教育支援を行う。

【情報ビジネス科・情報システム科】

- ・独立商業高校として、商業科教員の資質向上の一助になれるように努める。
- ・三重県産業教育の活性化を図るため、産業教育フェアや作文等へ積極的に参加する。

【国際教養科】

- ・国際教養科の生徒に英語以外の科目の学力向上に努める。特に読書等で活字を読むことに対する『耐力』をつけること、さらには『社会の動きに興味を持つ』働きかけも必要である。そのためには、各教科で系統的な学習をさせるための情報共有が行えるようとする。
- ・多くの教員が小中での授業見学を行い、異校種との連携に努め、更なる地域との連携を行う。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none">・「授業アンケート」が全クラスで実施されていない。授業改善のために、全クラスでアンケートを実施し、学校全体で授業改善に取り組んでいくべきである。・地域から要請のある活動について十分取り組めていなかったので、地域社会との連携をより進めていくべきである。・学校の活動が保護者に十分に伝わっていないことから、一層の保護者への情報発信に取り組んでいくべきである。
---------------------	---

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・生徒の自己指導能力を高める。・生徒の学力向上のため、全教職員が情報共有し、協働して授業改善を推進する。・生徒が自己実現に向けた進路決定ができるようにする。・商業や英語関係の高度な資格取得に一層取り組み、進路決定につなげていく。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・生徒に基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀を身につけさせるため、全教職員が情報共有し、協働して生徒指導を行う。・地域社会と連携して教育活動を行うことで、地域から信頼される学校づくりを推進する。・教職員の総勤務時間の縮減と健康増進を図る。